

タイヤ業界との協調を

協同組合日本
タイヤリサイク
ル協会（JSR
A）は5月19日、
役員・事務局の
集合とオンライン
集合同の併用で
「第29回通常総
会」を開催した。
日本タイヤリサイ
クル協会（JSR
A）は5月19日、
役員・事務局の
集合とオンライン
集合同の併用で
「第29回通常総
会」を開催した。

末には日本製鉄広畑溶解
炉が廃タイヤの使用を停
止。合計10万トンもの利
用先を失うことを踏ま
え、JSRAでは在庫解
消のための輸出先の確保
と新規利用先の開拓に努
めてきている。

目を迎えた新年度は、「適
正処理（適正価格）」と
「タイヤ業界との協調」
という基本理念をベース
に、次の3つの取り組み
を推し進めていく。

①名実ともに全国組織
となり各方面に働きかけ
ができる団体になれるよ
う、会員の拡大を図る。
②JSRAが目標とする
組織に対応すべく、事務
局の対外活動強化と内部
体制充実を図る。③廃タ
イヤの適正処理・リサイ
クルシステムを安定的に
運営していくために、利
用先企業・JATMAお
よび行政等関係先との連
携を深める。

また、コロナ禍の収束
が見えないことから、理
事会・定例会について、
上期はオンラインで開催
し、下期は状況を見極め
判断するとしている。

なお、同総会では、2
020年度事業報告と収
支決算報告、2021年
度事業計画案と収支予算
案を審議し、いずれの議
案も承認した。

給バランスが大
きく崩れている廃タイ
ヤ。最近では、日本製紙
富士工場と関西タイヤリ
サイクルが相次いで閉鎖
したのに続き、今年3月